

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年10月1日

2002年9月29日現在：

この1週間の気温は平年を多少上回り、北中央地区では76～82度であった。降水量は平年を下回り、ウイラメット盆地で0.1～0.29インチと成ったが、他地区では降雨は無かった。土壌水分状況は先週より悪化した。

土壌水分が不足しているが、これ以上冬小麦の播種を遅らせることが出来ず、乾燥した圃場に2003年産冬小麦の播種が続けられている。ギリヤム郡の圃場は表土5フィートの土壌水分はゼロと報告されている。シャーマン郡の小麦農家は深耕し播種を行っている。ウマティラ郡でもこれ以上播種を遅らすことが出来ず、乾燥圃場にて播種作業が進んでいる。この状態を“Dust-in”と称する。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	50	38	12	0
Subsoil (%)	54	34	12	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat				
Seeded (%)	13	5	19	18
Emerged (%)	20	0	4	4

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日:47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単収25.0Bu/ac(7月1日:27.0bu/ac、昨年:30.0bu/ac)、収穫面積予想:155,000エーカー(昨年:175,000エーカー)、収穫量:3,875,000ブッシェル(昨年:5,250,000ブッシェル)となっている。